

令和元年 12 月 5 日

環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程社会人募集入試（令和元年 12 月実施）における出題ミスについて

国立大学法人東京工業大学

令和元年 12 月 1 日に実施しました、環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程社会人募集入試（以下、本入試）において、筆答試験の出題ミスが判明いたしました。出題ミスのあった試験問題の取扱いが及ぼす影響を慎重かつ詳細に検討したうえで、合格者の決定を進めています。

受験者の皆様、並びに関係の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。今後は、再発防止に努めて参ります。

## 1. 本入試（2020 年 4 月入学）

### ①入試概要及びミスの内容

ミスのあった科目：技術経営専門職学位課程 筆答試験 問題 1

ミスの内容：問題の中で記載した例題の答において、「12 通り」とすべき 1 カ所を、「8 通り」と誤記した。この誤記による他の問への影響はない。

### ②ミス発見の経緯

試験実施後、受験者より入試課に問い合わせがあり、上記のミスを発見した。

### ③最終合否判定への影響

筆答試験成績評価について受験者の実力をより公平に判定する採点方法として、(1) 本問を当初の題意のもとで採点した結果、(2) 全員に対し本問に満点（20 点）を付与する取り扱いのもとで採点した結果、(3) 全員に対し本問を無効とし、他の問で当初の満点に再配分する取り扱いのもとで採点した結果、の 3 通りについて合否判定の比較を行った。

その結果、いずれの採点方法を採用しても合否判定には影響がないことを確認した。

### ④出題内容のチェック体制について

問題作成段階においては、出題担当教員 1 名が複数回のチェックを行うとともに、問題 1 の分科会（6 名）で 3 回、その後、作題に関わらない教員 2 名で本題部分のチェック、当日にも 2 名で問題チェックを行ったが、ミスの発見には至らなかった。

## 2. 再発防止について

入試ミスの防止については、体制の強化などに努めてまいりましたが、この度このようなミスを起こしたことを大変遺憾に思います。今後の入試に向けて試験問題作成に係る体制を再度検証し、改善を行って参ります。

注意事項

1. 次の2題全部について解答せよ。
2. 解答は1題ごとに別々の答案用紙に記入せよ。
3. 各答案用紙の受験番号欄に受験番号、試験科目名欄に筆答試験科目を記入せよ。

注意事項

1. 問題1及び問題2の全てに解答すること。
2. 解答は問題1(1)から(4)、問題2のそれぞれについて、別々の解答用紙に記入すること。
3. 各解答用紙の指定箇所に受験番号を記入すること。

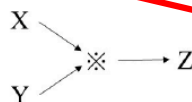
問題1. (配点20) 次の文章を読み、(1)から(4)の全てに答えなさい。

次のルールに従って計算を行う計算機がある。

ルール1: ※は、入力値の全ての積を計算し、その1の位を出力する。

ルール2: ◎は、入力値の全ての和を計算し、その1の位を出力する。

ここで、入力値 X、Y に対し、ルール1を適用し、出力値 Z を得る過程を下図で表現する。例えば、X=3、Y=4 の時、Z=2 である。また、X、Y が 1~9 までの異なる整数であり、かつ、Z=2 の場合、これを満たす X、Y は **8通り** となる。



12通り

この時、下記の(1)~(4)について解答しなさい。ただし、A~D は 1~9 までの整数とする。

(1) 下図を満たす A と B は何通りあるか答えなさい。また、その値の組み合わせを全て答えなさい。ただし、A と B は異なる値を取るものとする。

